（別記）

令和８年度広野町地域農業再生協議会水田収益力強化ビジョン

１　地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

広野町では、水稲を中心としており、令和７年産米については、飼料用米への転換を推進したが主食用米への取組が増加傾向にあった。また、一方で大豆、麦等の作付けにも取り組んでおり、麦の面積は増加傾向であったが、大豆は減少傾向となった。今年度については、主食用米の需要が高まっていることから昨年同様主食用米への転換傾向にある。このため、今後において新たな転換を図るため高収益作物等の導入や畑作物への転換と飼料用米も併せて推進することにより、安定的な農業所得の確保と自立的な農業経営を行う必要がある。また、地域における担い手不足や高齢化が懸念されていることから、農地の集積と担い手育成や新規就農者の確保も併せて推進する必要がある。

２　高収益作物の導入や転換作物等の付加価値の向上等による収益力強化に向けた産地としての取組方針・目標

（１）適地適作の推進

適地適作の推進については、関係機関と連携し、各地域の現状を把握するとともに、ほ場の条件等の検討を行い、ほ場に適した転作作物等の作付け推進を行う。

（２）収益性・付加価値の向上

高収益作物及び畑作物の推進を図り、当町の農産物加工施設の有効活用を行い、６次化に向けた商品開発を図る。

３　畑地化を含めた水田の有効利用に向けた産地としての取組方針・目標

（１）地域の実情に応じた農地の在り方

当町においては、担い手不足や高齢化が懸念され、今後は、策定された地域計画及び目標地図を基に、担い手の育成と新規就農者の確保も併せて行う。

（２）水田の利用状況の点検方針・点検結果を踏まえた対応方針

JA 等関係機関及び農業者を含めた話し合いを行い、畑地化や水稲と転換作物を組み合わせたブロックローテーション等の取組方針・目標検討を行う。

４　作物ごとの取組方針等

（１）主食用米

需要に応じた米生産に取り組むことが重要であるため、特別栽培米や有機米の栽培を促進することで付加価値の高い米の生産に取り組む。

（２）備蓄米

出荷業者との連携により、主食用米に変わる作物として生産に取り組む。

（３）非主食用米

ア　飼料用米

出荷業者との連携により、主食用米に変わる作物として生産に取り組む。

イ　米粉用米
取組予定なし。

ウ　新市場開拓用米
取組予定なし。

エ　WCS 用稲
取組予定なし。

オ　加工用米
取組予定なし。

（４）麦、大豆、飼料作物
麦、大豆については、各地域の現状を踏まえ、高温対策等を考慮しながら、出荷業者との連携により生産体制を確立することで作付面積の拡大を図る。また、団地化の推進により低コスト化に取り組む。
飼料作物については、引き続き団地化の推進により低コスト化に取り組む。

（５）そば、なたね
取組予定なし。

（６）地力増進作物
取組予定なし。

（７）高収益作物
各地域の現状を踏まえ、適地適作を検討しながら、出荷業者との連携により生産体制を確立することで作付面積の拡大を図る。

５ 作物ごとの作付予定面積等

（単位:ha）

作物等	前年度作付面積等		当年度の作付予定面積等		令和８年度の作付目標面積等	
		うち二毛作		うち二毛作		うち二毛作
主食用米	115.88	0.00	179.69	0.00	100.00	0.00
備蓄米	32.26	0.00	0.00	0.00	5.00	0.00
飼料用米	47.42	0.00	3.48	0.00	80.00	0.00
米粉用米	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
新市場開拓用米	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
WCS用稲	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
加工用米	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
麦	0.00	0.00	6.77	0.00	7.50	0.00
大豆	15.78	0.00	2.53	0.00	14.50	0.00
飼料作物	2.70	0.00	2.70	0.00	3.00	0.00
・子実用とうもろこし	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
そば	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
なたね	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
地力増進作物	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
高収益作物	1.58	0.00	1.17	0.00	3.00	0.00
・野菜	1.58	0.00	1.17	0.00	3.00	0.00
タマネギ	0.37	0.00	0.25	0.00	1.00	0.00
じゃがいも	0.76	0.00	0.76	0.00	1.00	0.00
その他支援作物	0.45	0.00	0.16	0.00	1.00	0.00
・花き・花木	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
・果樹	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
・その他の高収益作物	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
畑地化	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

６ 課題解決に向けた取組及び目標

整理番号	対象作物	使途名	目標	前年度（実績）	目標値
1	麦（基幹作物） 大豆（基幹作物）	戦略作物助成① 戦略作物助成①	麦の作付面積 大豆の作付面積	（7年度）7.1ha （7年度）2.5ha	（8年度）7.5ha （8年度）14.5ha
2	飼料作物（イタリアンライグラス、オーチャードグラス）（基幹作物）	戦略作物助成②	作付面積	（7年度）2.7ha	（8年度）3.0ha
3	飼料用米（一般品種、多収品種）（基幹作物）	戦略作物助成③	飼料用米（一般品種、多収品種）作付面積	（7年度）3.4ha	（8年度）80.0ha
4	じゃがいも、トマト、かぼちゃ、きゅうり、ブロッコリー、タマネギ、アスパラガス、ねぎ（基幹作物）	野菜助成	作付面積	（7年度）1.1ha	（8年度）3.0ha

※　必要に応じて、面積に加え、取組によって得られるコスト低減効果等についても目標設定してください。
※　目標期間は３年以内としてください。

7　産地交付金の活用方法の概要

都道府県名：福島県

協議会名：広野町地域農業再生協議会

整理番号	使途 ※1	作期等 ※2	単価 （円/10a）	対象作物 ※3	取組要件等 ※4
1	戦略作物助成①	1	17,000	麦、大豆（基幹作物）	コスト低減の取組（肥料・農薬の低減等）
2	戦略作物助成②	1	17,000	飼料作物（イタリアンライグラス、オーチャードグラス）（基幹作物）	コスト低減・収量増加の取組（肥料・農薬の削減等）
3	戦略作物助成③	1	15,000	飼料用米（一般品種、多収品種）（基幹作物）	コスト削減の取組（疎植栽培、側条施肥等）
4	野菜助成	1	20,000	じゃがいも、トマト、かぼちゃ、きゅうり、ブロッコリー、タマネギ、アスパラガス、ねぎ（基幹作物）	作付面積に応じて支援

※1　二毛作及び耕畜連携を対象とする使途は、他の設定と分けて記入し、二毛作の場合は使途の名称に「〇〇〇（二毛作）」、耕畜連携の場合は使途の名称に「〇〇〇（耕畜連携）」と記入してください。
　　ただし、二毛作及び耕畜連携の支援の範囲は任意に設定することができるものとします。
　　なお、耕畜連携で二毛作も対象とする場合は、他の設定と分けて記入し、使途の名称に「〇〇〇（耕畜連携・二毛作）」と記入してください。
※2　「作期等」は、基幹作を対象とする使途は「1」、二毛作を対象とする使途は「2」、耕畜連携で基幹作を対象とする使途は「3」、耕畜連携で二毛作を対象とする使途は「4」と記入してください。
※3　産地交付金の活用方法の明細（個票）の対象作物を記載して下さい。対象作物が複数ある場合には別紙を付すことも可能です。
※4　産地交付金の活用方法の明細（個票）の具体的要件のうち取組要件等を記載してください。取組要件が複数ある場合には、代表的な取組のみの記載でも構いません。